

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	東邦プロジェクトB		
担当者(Instructors)	中野 匡隆	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

キャンプ（アウトドア）を通じて、地域に貢献できるイベントの企画と運営を実践する。それによって、キャンプ（アウトドア）、防災に関する知識・スキルを身に着けるだけでなく、社会人基礎力、生きる力、人間力、GRIDを高める。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は、グループワークを中心とした演習形式で実施され、受講者同士での課題に関するプレゼンテーション、フィールドワーク、ディスカッション、ピアインストラクション（根拠やプロセスを教え合うこと）を積極的に取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	【対面】プロジェクトメンバーの自己紹介と本授業の概要説明をする。	<input type="checkbox"/>
第2回	キャンプ（アウトドアのイントロダクション）	【対面】キャンプの現状などを知る。	<input type="checkbox"/>
第3回	キャンプ（アウトドア）イベントの立案	【対面】キャンプ（アウトドア）イベントを立案する。特に希望が出なかった場合、『防災キャンプフェスティバル』のみを運営する。	<input type="checkbox"/>
第4回	キャンプでのアクティビティの実践1	【対面】アイスブレイキングゲーム、イニシアティブゲームなどを実践する。	<input type="checkbox"/>
第5回	キャンプでのアクティビティの実践2	【対面】アイスブレイキングゲーム、イニシアティブゲームなどを実践する。	<input type="checkbox"/>
第6回	防災に関する知識の取得	【対面】防災に関する知識を取得する。	<input type="checkbox"/>
第7回	キャンプ（アウトドアスキル）の実践1	【対面】テントの設営やアウトドアアイテム（防災グッズ含）を使ってみる。	<input type="checkbox"/>
第8回	キャンプ（アウトドアスキル）の実践2	【対面】火おこしを実践する。	<input type="checkbox"/>
第9回	キャンプ（アウトドアスキル）の実践3	【対面】アウトドアクッキングを実践する。	<input type="checkbox"/>
第10回	キャンプの安全1	【対面】リスクマネジメントの考え方を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	キャンプの安全2	【対面】事前踏査（リハーサル）を実施する。	<input type="checkbox"/>
第12回	キャンプ（アウトドア）イベントの運営1	【対面】キャンプ（アウトドア）イベントを運営する。	<input type="checkbox"/>
第13回	キャンプ（アウトドア）イベントの運営2	【対面】キャンプ（アウトドア）イベントを運営する。	<input type="checkbox"/>
第14回	キャンプ（アウトドア）イベントの運営3	【対面】キャンプ（アウトドア）イベントを運営する。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	【対面】本プロジェクトの振り返りを実施する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【事前事後学習】 普段から興味をもって、キャンプ、野外活動、防災の情報を収集し、事前事後の準備や課題に取り組み、イベント集客に必要な授業時間外での活動が必須である（4時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各課題について授業内で議論し、全体として共通のポイントに関しては全体で共有し、個別のポイントに関しては学生個々に個別指導をする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019全学共通DP3	キャンプ、アウトドア、防災に関する知識を習得し、自らの考えをコミュニケーションスキル、情報リテラシーを駆使しながら発信し、その知識と自らの経験を基に創造的に考え、問題解決のために主体的に他者と協働して行動することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		